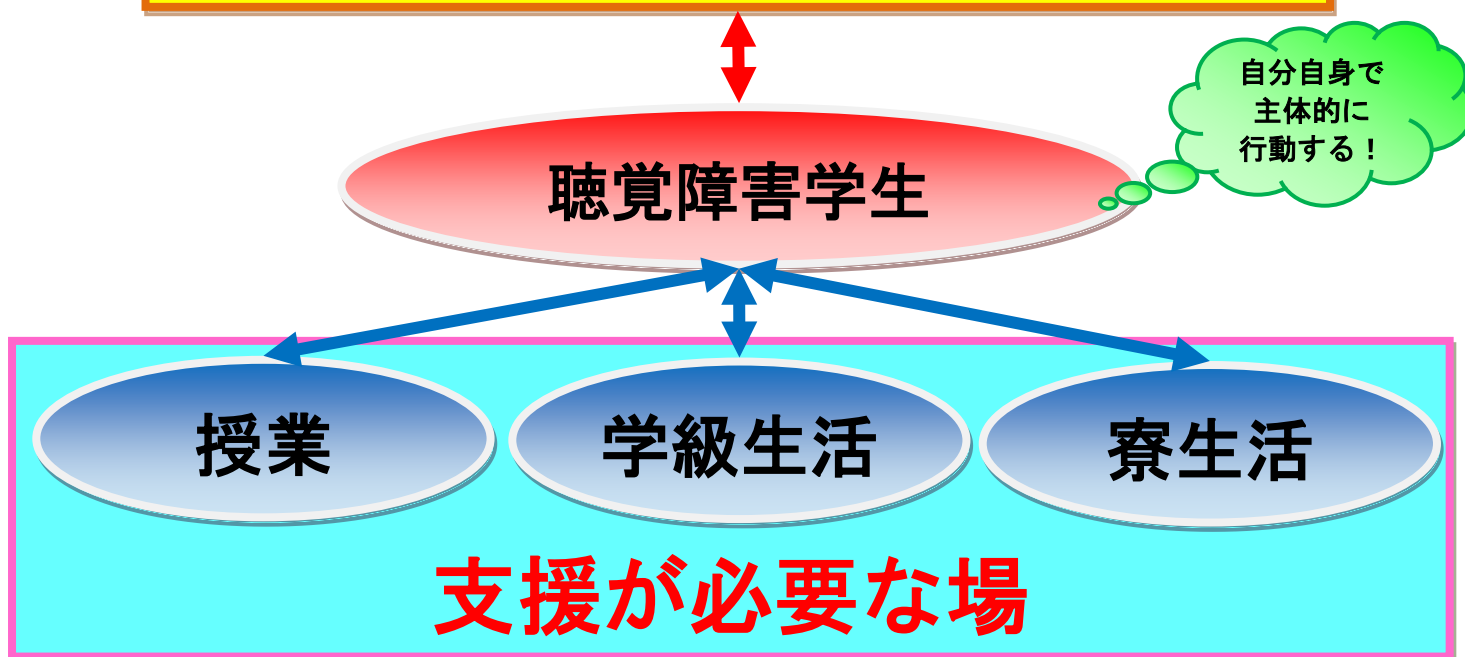


## 支援（学生相談室によるコーディネート）



- 1 学校の支援体制
  - 1.1 学生相談室がコーディネート
  - 1.2 校長中心の全学体制で実施
  - 1.3 保護者・医療機関との連携の重視
  - 1.4 本人の主体的関わり・自立支援を重視
- 2 支援の概要
  - 2.1 支援体制の構築:入学時に学校に相談して、誰がどのように支援するのかを決めた。
  - 2.2 周囲の学生への理解の促進:最初の寮生集会で学校が人工内耳について説明した。クラスでは自己紹介の中で自分から説明し、理解を求めた。
  - 2.3 情報保障(座席配慮・FMシステム整備)
  - 2.4 学生寮での支援:(非常時対応)夜間、人工内耳の外部装置を外している間に非常放送が流れた場合、隣の部屋の学生が知らせる体制を作った。
- 3 学生の主体的なかかわりについて
  - 3.1 クラスの学生へのカミングアウト
    - ①座席について、周囲の学生が自発的に配慮してくれる。
    - ②聞き取れなかった授業内容を周囲の人から遠慮なく教えてもらえる。
  - 3.2 ピアサポーターを自分で選び・依頼する  
信頼できる寮生を選び、学生寮で災害時の時に支援してもらえるよう依頼する。
  - 3.3 指導寮生・指導寮生長の仕事について  
聴覚障害により指導寮生(長)の活動が困難な部分は、他の指導寮生または他寮生から補助してもらう。
- 4 今後の課題
  - 4.1 災害等非常時の情報保障
  - 4.2 海外研修旅行(3年)
  - 4.3 インターシップ(4年)
  - 4.4 進路選択(就職活動・大学編入)



問い合わせ先

国立沖縄工業高等専門学校学生相談室 〒905-2192 沖縄県名護市辺野古 905